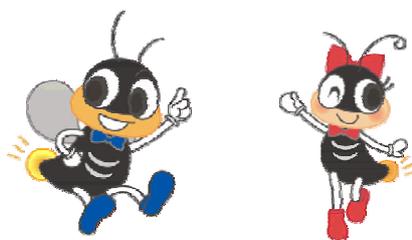


京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）

— 2018（平成30）年度計画 —

2018（平成30）年度 京都市上下水道局運営方針



上下水道局マスコットキャラクター
ホタルの澄都（すみと）くん，ひかりちゃん

目次

1 京都市公営企業管理者上下水道局長からのメッセージ	1 ページ
2 本計画の位置付け	1 ページ
3 2018(平成30)年度の主要事業	2 ページ
4 2018(平成30)年度予算について	7 ページ
5 経営基盤強化計画	9 ページ
6 取組項目一覧	10 ページ

2018（平成30）年4月

みず
京の水ビジョン
—あすをつくる—

中期経営プラン

2018-2022

1 京都市公営企業管理者上下水道局長からのメッセージ

平成 30 年度は、「京(みやこ)の水ビジョンーあすをつくるー」及びその前期 5 箇年の実施計画「中期経営プラン(2018-2022)」がスタートする重要な年です。職員一丸となって、各施策を着実に推進してまいります。

ビジョン・プランでは、水道・下水道の基本的な役割をしっかりと果たすことに重点を置き、管路や施設の改築更新や耐震化はもとより、防災・危機管理をはじめ、市民や事業者の皆さまとの更なる連携、文化や景観、地球環境に配慮した京都ならではの事業展開などを、積極的に推進していくこととしています。

節水型社会の定着等による水需要の減少や、老朽化した管路・施設の改築・更新需要の増大など、厳しい事業環境下においても、市民の皆さまの重要なライフラインである水道・下水道を 50 年後、100 年後の未来に繋ぐという大きな責務を果たしてまいります。



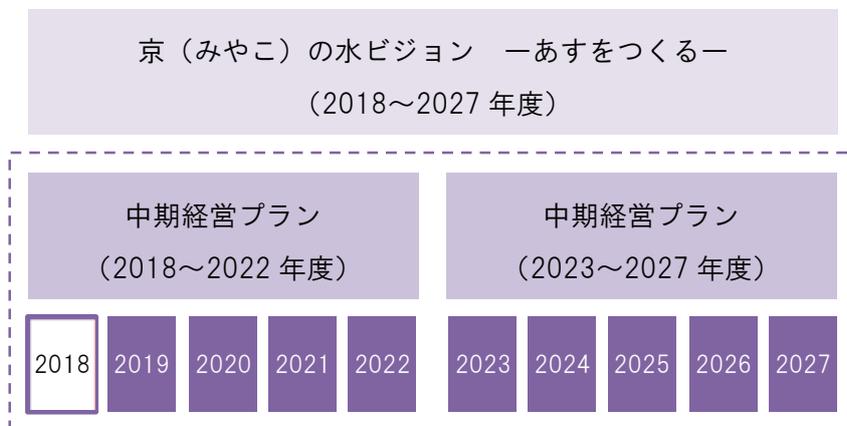
京都市公営企業管理者
上下水道局長
山添 洋司

2 本計画の位置付け

本市の水道・下水道は、水需要の減少に加え、管路や施設の老朽化が更に進むことで、経営環境は厳しさを増すほか、地震や大雨等の災害への備えや、これまでに培ってきた技術の継承、広域化・広域連携の本格的な検討の必要性など、様々な課題に直面しています。

上下水道局では、このような状況にあっても、水道・下水道を将来にわたって守り続けるために、「目指す将来像」やその実現に向けた取組をまとめた「京(みやこ)の水ビジョンーあすをつくるー」(2018-2027)及びその前期5箇年の実施計画である「中期経営プラン(2018-2022)」を、2018(平成30)年3月に策定しました。

本計画は、ビジョン及びプランに掲げる事業を着実に推進するための単年度計画として策定するものであり、主に、プランを構成する2つの計画(「事業推進計画」及び「経営基盤強化計画」)の本年度の年次計画から構成しています。また、本計画は、本市の各局区等のマネジメント機能の強化と市民の皆さまとの情報共有、説明責任の充実を目的として策定・公表することとされている「局区運営方針」として策定するものです。



2018(平成30)年度以降のビジョン・プランは、上下水道局ホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000233138.html>)を御覧ください。事業の概要や背景・課題などについても詳しく記載しています！

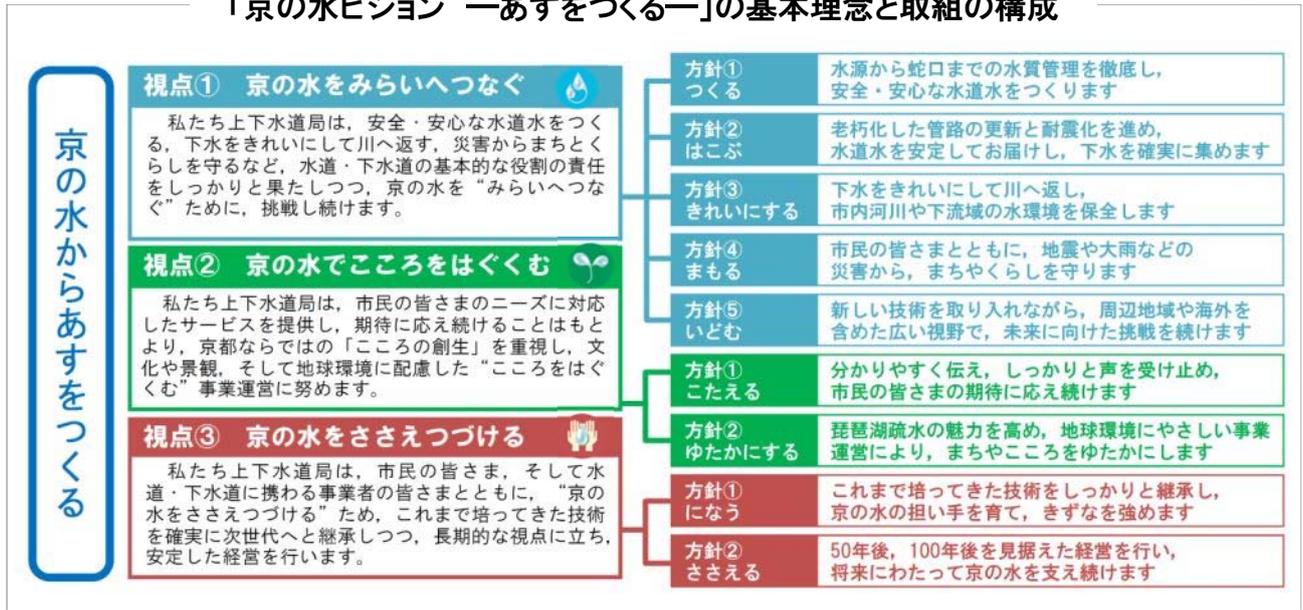


3 2018(平成30)年度の主要事業

ビジョンに掲げる取組の構成に沿って、
当年度の主要事業を御紹介します！



「京の水ビジョン 一あすをつくる」の基本理念と取組の構成

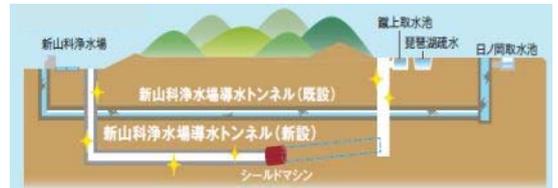


視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針① つくる 水源から蛇口までの水質管理を徹底し、安全・安心な水道水をつくります

新山科浄水場導水トンネルの更新・耐震化 予算 水道 100 百万円

建設から約 50 年が経過し、老朽化が進む新山科浄水場導水トンネルを更新するとともに、地震等の災害時でも、原水(水道水のもとになる水)をこれまで以上に安定的に取水し、水道水をつくり続けるために耐震化します。



新山科浄水場導水トンネルの更新・耐震化

新山科浄水場導水トンネル更新工事の概要
 (事業年度) 2017～2027 年度
 (総事業費) 約 200 億円(付帯工事含む)

方針② はこぶ 老朽化した管路の更新と耐震化を進め、水道水を安定してお届けし、下水を確実に集めます

地震等災害時における給水のバックアップ機能強化 予算 水道 911 百万円

地震等の災害による被害に備え、異なる浄水場からでも給水することが可能となるよう、連絡幹線配水管の布設工事を実施し、給水のバックアップ機能(通常とは別のルートで水道水を供給する機能)の強化を図ります。



連絡幹線配水管による給水のバックアップ機能の強化イメージ

連絡幹線配水管の布設工事実施箇所
 ・最高区吉田連絡幹線配水管 事業年度 1999～2019 年度
 ・低区御池連絡幹線配水管 事業年度 2014～2022 年度
 ・高区花園連絡幹線配水管 事業年度 2014～2020 年度

配水管の更新・耐震化の推進 予算 水道 9,400 百万円

水道水を将来にわたり安定的に供給するため、老朽化した配水管の更新をスピードアップするとともに、地震に強い水道を整備します。

なお、2018(平成30)年度以降は、これまでの配水管に加え、補助配水管(口径75mm以下の配水管)も含めた配水管全体で更新及び耐震化を推進します。

【中期経営プラン数値目標】老朽配水管の解消率()



配水管の布設替工事

()老朽配水管(昭和34~52年に布設した耐震性に劣る初期ダクタイル鉄管)の平成21年度(更新事業開始年度)当初延長に対する更新済の延長の割合

計画的な管路内調査及び改築更新・耐震化の推進 予算 下水道 2,661 百万円

下水道を将来にわたって安心して使い続けるため、老朽化した下水道管や重要な管路の中でも、特に破損等のリスクが高い旧規格の管路の布設替えや管更生(長寿命化)を実施し、優先度を踏まえた改築更新・耐震化を推進します。

【中期経営プラン数値目標】下水道管路改築・地震対策率()



下水道管更生の施工状況

()対策済管路延長÷破損等のリスクが高い旧規格の管路延長

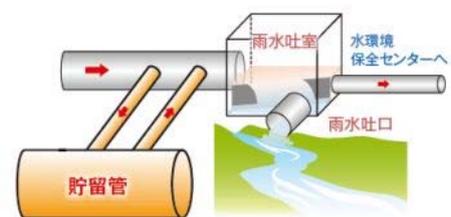
方針③ きれいにする 下水をきれいにして川へ返し、市内河川や下流域の水環境を保全します

貯留管による合流式下水道の改善対策 予算 下水道 982 百万円

汚水と雨水を一本の管きよで合わせて流す合流式下水道は、雨が強く降ると、雨水吐口から汚水の混じった雨水が河川に流出することがあることから、その流出量を削減するために貯留管等を整備します。

貯留管の整備箇所
・津知橋幹線等(伏見北部地域)事業年度2016~2021年度

【中期経営プラン数値目標】合流式下水道改善率()



貯留管による合流式下水道の改善

()合流式下水道改善済面積÷合流式区域面積

方針④ まもる

市民の皆さまとともに、地震や大雨などの災害から、まちとくらしを守ります



施設整備による浸水対策の推進

予算

下水道

3,660 百万円

大雨による浸水被害からまちやくらしを守るために、過去に浸水した地域や浸水のおそれがある地域において、雨水幹線等の整備を進め、「雨に強いまちづくり」を推進します。

雨水幹線等の整備箇所

・伏見第3導水きょ（伏見大手筋地域）事業年度 2015～2019 年度

【中期経営プラン数値目標】雨水整備率（10年確率降雨対応）（ ）



() 10年確率降雨（1時間当たり62ミリ）に対応した浸水対策実施済面積÷公共下水道事業計画区域面積



施工中の雨水幹線の内部（施設見学会）



事業・防災拠点の整備及び危機管理に係る体制の強化

市内北部エリアの事業・防災拠点である「太秦庁舎」（平成29年7月開庁）に引き続き、市内南部エリアを所管する事業・防災拠点について、元資器材・防災センター用地を活用して整備し、「南北2箇所の事業・防災拠点」を実現するため、南部拠点の整備に係る基本計画を策定します。

方針⑤ いどむ

新しい技術を取り入れながら、周辺地域や海外を含めた広い視野で、未来に向けた挑戦を続けます



新技術に係る調査・研究の実施

予算

下水道

13 百万円

下水処理における水質の向上や省エネルギー化を推進するために、ICT等を活用した効率的・効果的な水処理に関する調査研究を行います。



水処理施設（水環境保全センター）



広域化・広域連携の在り方に係る検討

京都府及び近隣市町村の現状や意向を把握しつつ、水道事業・公共下水道事業の広域化・広域連携の在り方について検討を行います。

「京都水道グランドデザイン」検討委員会（京都府）

京都府では、府域全体の水道ビジョンである「京都水道グランドデザイン」の検討の中で、広域化に係る検討を進めています。

当該ビジョンの検討体制として、学識経験者や行政関係者等から構成される検討委員会が設置されており、京都市上下水道局も参画しています。



「京都水道グランドデザイン」検討委員会

視点② 京の水でこころをはぐくむ

方針① こたえる

分かりやすく伝え、しっかりと声を受け止め、市民の皆さまの期待に応え続けます



インターネット等を活用した新たなサービスの展開

予算 水道 21 百万円

お客さまがインターネットを利用して 24 時間いつでも使用水量や料金などの確認や、クレジットカード継続払いの申込みができるサービスを開始します。



戦略的な広報活動の推進

予算 水道 25 百万円 下水道 17 百万円

利き水体験や、お風呂の魅力や効能を啓発するワークショップ等の参加型・体験型のイベントの実施、ミスト事業や水飲み場設置の更なる推進を通じて、安全で環境にもやさしい水道水の幅広い用途や事業の果たす役割、意義などを積極的に情報発信していきます。



「京（みやこ）の水・おふるキャラバン」
(お風呂の魅力や効能などを啓発するワークショップ)

方針② ゆたかにする

琵琶湖疏水の魅力を高め、地球環境にやさしい事業運営により、まちやこころをゆたかにします



琵琶湖疏水通船のプロモーション等

予算 水道 44 百万円

2018（平成 30）年春から本格運航を開始した琵琶湖疏水通船事業について、国の地方創生推進交付金等を活用して、関西圏を中心としたPR活動の展開、リピーター獲得のための特別企画の実施のほか、疏水沿線の近代化産業遺産等を活用した取組など、琵琶湖疏水の魅力を高め、発信する事業を行います。



琵琶湖疏水通船の運航の様子



下水污泥処理施設の再構築

予算 下水道 500 百万円

下水道資源の有効利用の取組の一つとして、鳥羽水環境保全センターの既存焼却炉を固形燃料化炉に更新します。

固形燃料化炉の導入により、温室効果ガスや焼却灰の発生量を削減することができ、また、製造された固形燃料は石炭の代替燃料として有効利用することができます。



下水污泥固形燃料化炉の完成イメージ図

【中期経営プラン数値目標】下水污泥有効利用率（ ）



() 有効活用した污泥量 ÷ 総発生污泥量

視点③ 京の水をささえつづける

方針① になう

これまで培ってきた技術をしっかりと継承し、京の水の担い手を育て、きずなを強めます



技術継承に向けた体験型研修施設の整備

予算  76 百万円

今後経験豊富なベテラン職員の多くが退職していく中、技術継承と担い手の育成を図るため、太秦庁舎内に整備した水道技術研修施設に引き続き、鳥羽水環境保全センター内に下水道事業に係る体験型研修施設を整備します。



水道技術研修施設 平成30年2月完成



「企業力向上プラン(2018-2027)」に基づく取組の実施

2018(平成30)年3月に策定した「企業力向上プラン(2018-2027)」に基づき、技術力の向上・技術継承、お客さま満足度を高める応対力等の向上や働き方改革の取組など、企業力を向上させるための各種取組を実施します。

【中期経営プラン数値目標】技術系資格保持者の割合()



() 全技術系職員のうち、業務に関係し、難易度が高い技術系資格(1級施工管理技士や技術士等)を保持している職員の割合



企業力向上プラン

方針② ささえる

50年後、100年後を見据えた経営を行い、将来にわたって京の水を支え続けます

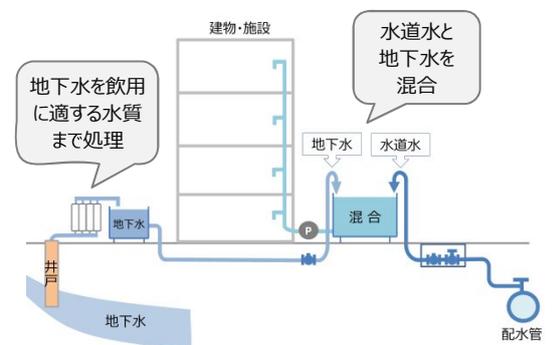


水道施設維持負担金制度の運用

地下水等利用者の網羅的な把握に努めるなど、水道施設の維持管理に係る経費負担の公平性を確保するための「水道施設維持負担金制度」(2018(平成30)年4月から制度開始)を着実に運用します。

水道施設維持負担金制度

地下水等利用専用水道(右図参照)を設置しているお客さまを対象とした負担金制度。水道施設の維持管理に必要な経費について、水道水のみを使用する一般のお客さまとの間の負担の公平性を確保することを目的としています。



地下水等利用専用水道の設置例
(水源が地下水の場合)



経営状況に係る情報発信

経営評価制度の充実を図るとともに、市民・事業者の皆さまに経営の状況や見通しについて御理解いただけるよう、積極的な情報発信に努めます。

「方針 ささえる」のうち、経営の効率化や財務体質の更なる強化の取組内容については、9ページ(経営基盤強化計画)を御覧ください。



4 2018(平成30)年度予算について

当年度予算のポイントを御説明します！



① 水道料金・下水道使用料収入

節水型社会の定着による水需要の減少傾向が継続していることから、水道事業・公共下水道事業ともに前年度から減収を見込んでいます。



【水道料金収入】

296.3 億円

(2017(H29)見込 298.3 億円,
△2.0 億円)



【下水道使用料収入】

238.8 億円

(2017(H29)見込 240.5 億円,
△1.7 億円)

② 純利益(資産維持費, 減債積立金)

効率的な事業運営に努めることで利益を確保し、水道事業では配水管更新の財源(資産維持費)に、公共下水道事業では企業債償還の財源(減債積立金)にそれぞれ充当します。



【資産維持費】

22.2 億円

(2017(H29)見込 29.8 億円,
△7.6 億円)



【減債積立金】

32.6 億円

(2017(H29)見込 37.3 億円,
△4.7 億円)

中期経営プラン(2018-2022) 5箇年の財政目標



配水管更新のため、
資産維持費として
100 億円を確保



企業債償還や将来の大規模
更新のため、積立金として
160 億円を確保

③ 企業債残高の削減

②により企業債発行を抑制し、企業債残高を水道事業・公共下水道事業合わせて、277 億円を削減します。



【企業債残高の削減】

△65 億円

(2017(H29)見込 1,728 億円
→2018(H30)予定 1,663 億円)



【企業債残高の削減】

△212 億円

(2017(H29)見込 3,112 億円
→2018(H30)予定 2,900 億円)

中期経営プラン(2018-2022) 5箇年の財政目標



【企業債残高の削減】

△124 億円

(2017(H29)見込 1,728 億円
→2022 予定 1,604 億円)



【企業債残高の削減】

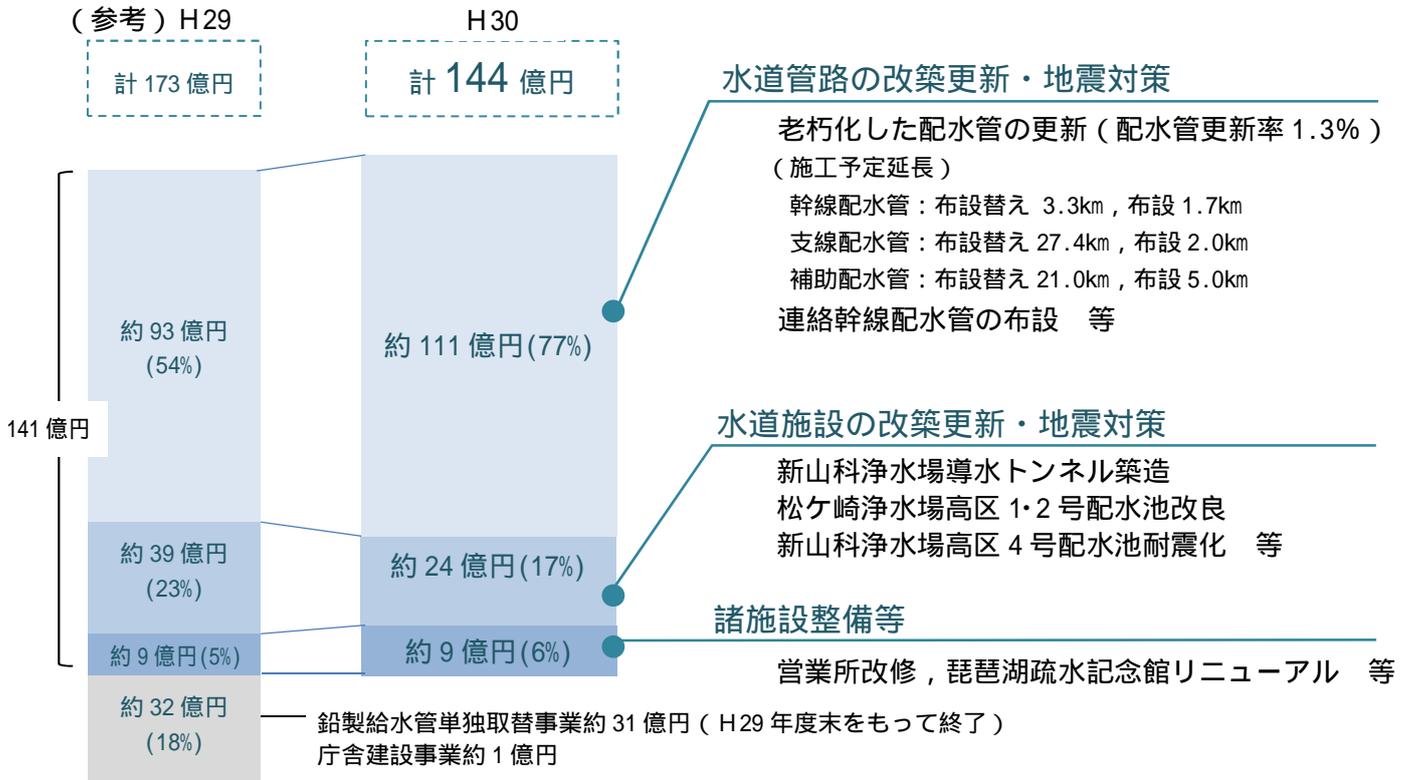
△567 億円

(2017(H29)見込 3,112 億円
→2022 予定 2,545 億円)

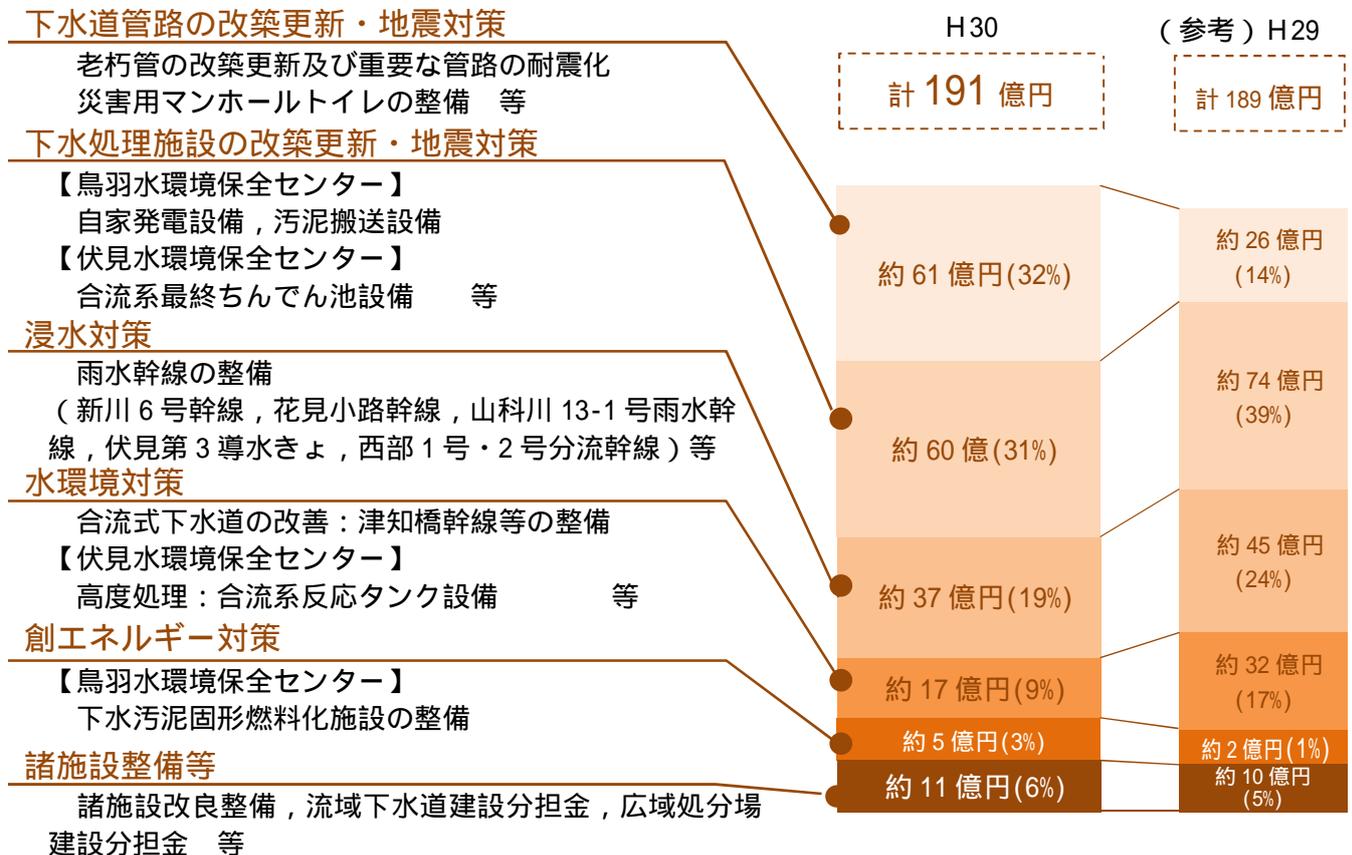
④ 整備事業の内容

水道事業及び公共下水道事業の整備事業の予算規模及び内容は、以下のとおりです。

水道事業



公共下水道事業



2018(平成 30)年度予算の詳細は「京都市水道事業・公共下水道事業予算概要」を御覧ください。

京都市上下水道局ホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>)

「上下水道局の紹介」→「経営情報」→「財務情報」→「予算」→「平成 30 年度予算」

5 経営基盤強化計画(2018(平成30)年度の取組内容)

中期経営プラン(2018-2022)に掲げる「経営基盤強化計画」に基づき、2018(平成30)年度は、以下の取組を実施します。

① 業務執行体制の効率化(第6期効率化推進計画)

取組内容

- 事業・防災拠点の整備及び緊急対応体制の再編
- 改築更新・耐震化の更なる推進体制の構築
- 変化する経営環境への的確な対応及び企業力の更なる向上に向けた組織改革
- 民間活力の積極的な導入及び業務執行体制の見直し



民間活力の積極的な導入(2018(平成30)年度実施内容)

- ・ 営業所水道開閉栓業務の委託拡大
(東部, 西部, 左京営業所)
- ・ 水環境保全センター運転管理業務の委託拡大
(鳥羽水環境保全センター吉祥院支所)



水道開閉栓作業



施設の点検・洗浄

② 効率的な事業運営による物件費の削減

取組内容

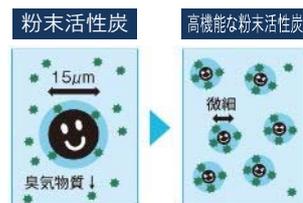
- 配水管更新の実施による漏水修繕費の削減
- 高機能な粉末活性炭の導入による薬品費等の削減
- 汚泥消化タンクの再整備による都市ガス購入経費の削減
- 事業所の統廃合による建設再投資等の削減

※上記のほか、あらゆる業務について再点検と見直しを行うことにより、経費削減の取組を推進します。



高機能な粉末活性炭の導入による薬品費等の削減

高機能な粉末活性炭は、従来の粉末活性炭より臭気を除去する能力に優れた粉末活性炭のことで、購入単価は従来のものと比べて高くなりますが、臭気の除去能力が2倍以上となることから、使用量を低減でき、コストの削減が可能となります。



取組による財政効果(①+②)

区分	職員定数の適正化(①)		物件費の削減(②)	計(①+②)
	削減人数(人)	財政効果(百万円)	財政効果(百万円)	財政効果(百万円)
水道	△29 【△4】	△276	△257	△533
下水道	△2 【4】	△2	△235	△237
計	△31 【0】	△278	△492	△770

注1 削減人数の【】内は嘱託員の削減人数で外数。財政効果は、退職給付引当金の削減効果を含みます。

注2 物件費の削減効果には人員削減に伴う委託経費等の増加を含み、資本的収支に係る効果を除きます。

注3 上表は2017(平成29)年度末から2018(平成30)年度末までの削減人数及び財政効果を記載しています。

6 取組項目一覧

具体的な実施内容と目標等を紹介します。



視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針① つくる

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
① 水源から蛇口までの水質管理の徹底		
水質監視の強化	水質監視装置更新・増設計画の策定 水質監視装置による24時間連続監視の実施 山間地域の水質監視装置設置及び機能増設工事の設計 (2018~2019年度)	水質第1課 水道部施設課
水質検査の徹底	平成30年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施 平成31年度水道水質検査計画の策定 水道GLPの認証に係る更新審査	水質第1課
水安全計画の継続的な運用	水安全計画の運用, 見直し	水道部管理課
② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進		
最適な浄水処理の推進	高機能な粉末活性炭の導入・効果の検証(蹴上浄水場, 松ヶ崎浄水場, 新山科浄水場での注入を実施) 高機能な粉末活性炭注入設備設置工事に係る基本計画の策定及び基本設計の実施(2018~2020年度)	水道部管理課, 水道部施設課
施設の機能を維持するための適切な維持管理	増圧施設, 山間地域等の施設の基本情報データベース化 (2018~2020年度)	水道部管理課
③ 安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化		
<u>新山科浄水場導水トンネルの更新・耐震化</u> 2ページ参照	新山科浄水場導水トンネル築造工事実施 (事業年度: 2017~2027年度)	水道部施設課
基幹施設の改築更新・耐震化	松ヶ崎浄水場高区1・2号配水池改良工事実施 (事業年度: 2017~2021年度) 新山科浄水場高区4号配水池耐震化工事実施 (事業年度: 2018年度) 新山科浄水場高区2号配水池耐震化工事の実施設計完了 松ヶ崎浄水場中央監視制御設備更新に係る実施設計完了	水道部施設課

方針② はこぶ

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
① 配水管等の適切な維持管理の推進		
漏水調査や配水管洗浄の継続的な推進	漏水調査の実施 3,000km 配水管の洗浄作業(「京(みやこ)の水道管おそうじプロジェクト」)の実施	水道管路管理センター
効果的・効率的な維持管理体制の構築	水道管路の維持管理部門における南部エリアの在り方の検討	水道部管理課
② 安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化		
<u>配水管の更新・耐震化の推進</u> 3ページ参照	老朽化した配水管の更新・耐震化の実施 51.7km ・ 配水管更新・耐震化工事実施 30.7km ・ 補助配水管更新・耐震化工事実施 21.0km	水道管路課

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
地震等災害時における給水のバックアップ機能強化 2ページ参照	最高区吉田連絡幹線配水管 布設工事実施 (事業年度:1999~2019年度) 低区御池連絡幹線配水管 布設工事実施 (事業年度:2014~2022年度) 高区花園連絡幹線配水管 布設工事実施 (事業年度:2014~2020年度)	水道管路課
③ 安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上		
受水槽の適正な維持管理の啓発と直結式給水のPR	貯水槽水道の設置者への啓発・助言 ・ 戸別訪問の実施 ・ 貯水槽の適正な管理の指導及び直結式給水への切替えに関する情報提供の実施 直結式給水のPR ・ 局ホームページへの直結式給水に関する情報の掲載 ・ 貯水槽水道設置者への戸別訪問の実施による直結式給水への切替えに関する情報提供及びPR強化	北部給水工事課
指定給水装置工事事業者への適切な指導	全事業者を対象とした研修の実施 新規事業者を対象とした説明会の実施 事業者への指導の継続実施(文書通知等)	水道管路課
宅地内における鉛製給水管取替助成金制度の継続	助成金制度の拡充 ・ 交付額上限の増額 10万円 15万円(工事費の2分の1) ・ 制度対象範囲の拡大(宅地部分全体を対象)	水道管路課
④ 下水道管路の適切な維持管理の推進		
計画的な維持管理の推進	下水道管路の計画的な巡視や点検の実施 腐食のおそれ大きい箇所の点検調査 3.0km 修繕履歴等を含めた管路情報のデータベース化	下水道部管理課
⑤ 優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化		
計画的な管路内調査及び改築更新・耐震化の推進 3ページ参照	下水道管路の調査及び改築・地震対策の実施 33km	設計課
⑥ 適切に下水道をお使いいただくための啓発や勧奨		
未水洗家屋の解消に向けた水洗化勧奨の推進	全戸訪問による水洗化勧奨の実施	下水道部管理課
工場・事業場排水の監視及び指導	事業場への立入りによる監視及び指導の実施 ・ 監視及び指導のための立入検査回数 1,200回以上	下水道部施設課

方針③ きれいにする

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
① 下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上		
適切な維持管理の実施	点検整備計画に基づく施設の定期整備の実施 基本情報や修繕履歴等のデータベース化に向けた情報収集等の実施	下水道部施設課
良好な処理水質の維持・向上	水質管理計画の作成及び計画に基づく水質試験の実施 効果的・効率的な運転管理に関する調査・研究の実施 ・ 水環境保全センターの運転管理や水質分析に関する調査・研究の実施及び研究成果の発表	水質第2課 下水道部施設課

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
② 水環境保全センター施設の再構築		
水環境保全センター施設の改築更新・耐震化	石田水環境保全センター自家発電設備改築工事完了 (事業年度:2016~2018年度)	設計課
③ 健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善		
貯留管による合流式下水道の改善対策 3ページ参照	津知橋幹線等工事实施(事業年度:2016~2021年度)	設計課

方針④ まもる

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
① 「公助」としての災害に強い施設整備や危機管理体制の強化		
事業・防災拠点の整備及び危機管理に係る体制の強化	市内南部エリアを所管する事業・防災拠点の整備に係る基本計画の策定 4ページ参照 「緊急ダイヤル」(仮称)の試行実施 BCPや各種マニュアルの点検・修正,防災装備の充実(迅速な情報共有のためにテレビ会議システムや通信機器などの端末を充実)	総務課 お客さまサービス推進室 水道部管理課 下水道部管理課
施設整備の強化	仮設給水槽配備の検討 マンホールトイレの継続的な整備 ・ 避難所となる小中学校等(17箇所)	総務課 設計課
② 「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化		
危機管理対策の積極的な広報等による市民の防災意識の向上	防災情報を整理したパンフレットの作成に向けた検討 災害用備蓄飲料水を活用した飲料水備蓄の普及啓発 ・ 一般公開や各種イベントにおける無償配布の実施 ・ 市民しんぶんへの掲載等による普及啓発 京都府下市町や関西自治体等と合同での防災訓練の実施	総務課
③ 「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進		
施設整備による浸水対策の推進 4ページ参照 (鳥羽第3導水きよをはじめとした施設整備)	伏見第3導水きよ工事实施(事業年度:2015~2019年度)	設計課
浸水被害軽減に向けた細やかな対策	雨水貯留施設及び雨水浸透ますの普及促進 ・ 雨水貯留施設 目標 120基 ・ 雨水浸透ます 目標 240基 関係局区が連携した雨に強いまちづくりの取組の推進 ・ 地区別や課題に応じた検討会の開催等	下水道部管理課 計画課

方針⑤ いどむ

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
① 常に発展し続けるための新技術の調査・研究		
新技術に係る調査・研究の実施 4ページ参照	新技術の調査・研究の実施 ・ 水質センサーを活用した水処理の効率化の調査	監理課 計画課
外部機関との共同研究の実施	局HPによる募集,共同研究の実施 ・ 管理排水型水質自動監視装置を用いた配水水質管理業務の効率化の実証研究等	監理課
研究成果等の外部への発信	全国水道研究発表会,全国下水道研究発表会等での研究成果等の発信	監理課

② 広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮		
広域化・広域連携の在り方に係る検討 4 ページ参照	<p>広域化・広域連携の在り方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府域全体に係る水道ビジョン策定への参画，京都府主催の圏域会議への参加を通じた近隣自治体との連携 ・ 広域化・広域連携に係る局内ワーキングの実施 	経営戦略室
府内各事業体との情報交換や技術支援，危機管理体制に係る検討	<p>情報交換及び共同研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圏域会議（京都府主催）への参画 ・ 日水協京都府支部における研修等の実施 <p>人事交流の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺事業体等との短期派遣の検討 <p>水質検査等の受託に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府との協議及び情報収集の実施 <p>危機管理体制に係る検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府下市町での合同防災訓練の実施等 	<p>企業力向上推進室</p> <p>職員課</p> <p>経営戦略室</p> <p>水質第 1 課</p>
流域関係者とのパートナーシップによる琵琶湖・淀川流域全体の水環境保全	<p>琵琶湖・淀川流域都市間の協議会等への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 淀川水質汚濁防止連絡協議会や琵琶湖・淀川水質保全機構が実施する調査・研修・報告会への参加及び情報収集の実施等 	<p>水質第 1 課</p> <p>水質第 2 課</p> <p>水道部施設課</p> <p>下水道部施設課</p> <p>計画課</p>
③ 国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成		
国際協力事業の推進	<p>JICA等を通じた海外からの研修・視察等の受入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市・神戸市と合同でJICA課題別研修「都市上水道維持管理」の受入れを実施 ・ その他，海外からの研修・視察受入れ等の積極的な実施 <p>JICA能力強化研修等への受講機会の設定</p> <p>IWA（国際水協会）世界会議（2018年9月東京にて開催予定）等の国際会議への論文発表</p>	経営戦略室
新たな可能性を追求するための調査・研究の推進	他都市との情報交換や民間事業者との協議等の実施	経営戦略室

視点② 京の水でこころをはぐくむ

方針① こたえる

取組	2018（平成30）年度の実施内容／目標等	所属
① お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化		
営業所組織の再構築	<p>北部営業所（北部，左京営業所担当区域）の開所</p> <p>防災拠点として給水車等を活用した応急給水訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給水車，仮設給水栓を活用した応急給水訓練の実施 ・ 給水車の運転，操作研修の実施 	お客さまサービス推進室

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
積極的なマーケティング リサーチの推進	鉛製給水管の解消に向けた周知及び下水道接続確認業務の実施 大口利用者利用状況調査の充実 地下水等利用専用水道利用者への訪問 民間賃貸マンションの各戸検針・各戸徴収サービスに係る制度の策定 お客さま情報の一元化に係るシステム開発	お客さまサービス推進室
② お客さまの声を反映した新たなサービスの展開		
インターネット等を活用した 新たなサービスの展開 5ページ参照	使用水量等のインターネット閲覧サービスのシステム構築及びサービスの開始(2018(平成30)年10月~) クレジットカード継続払いのインターネットによる申込みのシステム構築及びサービスの開始(2018(平成30)年10月~) 納付書支払窓口の拡充に向けた調査・研究 アンケート等を分析し、「積極的に行動するサービス」の充実について検討	お客さまサービス推進室
IoTの活用等も見据えた サービスの在り方の研究	水道スマートメーターの導入に伴う効果等の研究及び試験的導入 使用水量に応じたポイント付与制度の研究及び「水道使用水量のお知らせ」の内容を音声で伝えるサービスに係る調査	お客さまサービス推進室 水道管路課 水道部管理課
③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進		
戦略的な広報活動の推進 5ページ参照	戦略的な広報計画の策定及び取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> 戦略的な広報計画の策定(毎年度) 利き水体験や、お風呂の魅力や効能を啓発するワークショップ等の参加型・体験型のイベントの実施 子ども向け水道水PRプログラム「わくわく すいどうひるば」の実施 明治150年関連事業の実施 事業への理解促進,水道水や雨水の活用推進に向けた広報活動の展開 鳥羽水環境保全センター・蹴上浄水場一般公開や施設見学会等の開催 「おいしい!大好き!京(みやこ)の水キャンペーン」の実施 「水道水・雨水で花いっぱい!」の取組の展開 「京の駅ミスト」の実施及び京都駅前バスBのりばへの拡充 「京のまちなかミスト」,「澄都くと元気にミストシャワー」等の実施 ミスト装置貸出の実施及び貸出用ミスト装置の増台 「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進 	総務課
事業運営のためのニーズ 把握	「水に関する意識調査」(毎年度調査)の実施,結果の分析 <ul style="list-style-type: none"> 各種イベント等で実施するアンケート及び上下水道モニター制度等による広聴活動の展開 	総務課 経営戦略室

方針② ゆたかにする

取組	2018（平成30）年度の実施内容 / 目標等	所属
① 琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献		
琵琶湖疏水の魅力の更なる向上と情報発信	疏水路の維持管理・整備，石積の補修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 疏水路の維持管理・整備の実施（緑地維持管理，土砂浚渫，施設の点検整備等） ・ 石積補修箇所の調査を実施 琵琶湖疏水記念館リニューアルに向けた詳細設計・工事 蹴上インクライン有効活用に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 疏水沿線の近代化産業遺産の活用による誘客に向けた取組の実施 ・ リピーター獲得に向けた近代化産業遺産ツアー等の特別企画の実施 	総務課 水道部施設課
琵琶湖疏水通船の プロモーション等 5ページ参照	関西圏・首都圏へのPR <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事業者等とのタイアップ企画等の実施 ・ びわ湖疏水船公式ウェブサイトの充実 ・ 人材育成等の運営支援 ・ 琵琶湖疏水の魅力を伝えるガイド等の人材育成の実施 	総務課
京都のまちなみ保全や 景観の向上への寄与	青空美術館等の取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 津知橋幹線等工事における「青空美術館」の実施 ・ 新たなマンホールデザイン案の検討 	水道部管理課 下水道部管理課 設計課
② 創エネルギー・省エネルギーによる低炭素社会の実現への貢献		
温室効果ガス排出量削減のための取組の実施	創エネルギー対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電，小水力発電による再生可能エネルギーの利用 ・ 省エネ・高効率機器の採用，使用電力の削減 ・ 新山科浄水場 高区送水ポンプ更新工事完了（事業年度：2016～2018年度） ・ 池田ポンプ場沈砂池設備更新工事完了（事業年度：2017～2018年度） 	監理課 水道部管理課 水道部施設課 下水道部施設課 設計課
環境マネジメントシステム（EMS）の運用による環境負荷の低減と情報発信	本庁舎，事業所，浄水場及び水環境保全センターにおける環境マネジメントシステムの継続的運用 環境報告書の作成・発行	監理課
③ 地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献		
下水汚泥処理施設の再構築 5ページ参照	鳥羽水環境保全センター下水汚泥固形燃料化施設工事実施（事業年度：2018～2020年度）	設計課
下水汚泥の有効活用推進	消化ガスの汚泥焼却炉等への活用 脱水汚泥及び焼却灰のセメント原料への活用	下水道部施設課

視点③ 京の水をささえつづける

方針① になう

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける企業力の向上 6 ページ参照		
技術力の向上・技術継承の推進とチャレンジ精神あふれる職員の育成	採用5年目までの職員を対象とした専門技術研修の実施 水道技術研修施設の運用開始 ・ 上下水道局職員の技術研修を実施 ・ 他都市事業体受入メニューの検討 下水道事業に係る体験型研修施設の整備 技術研修マネジメントシステムの検討・試験的導入 「聴く力・受け止める力・伝える力」向上研修の実施 ・ 広報・広聴スキルアップ研修の実施 ・ プレゼンテーション研修の実施 キャリア形成支援, 人事交流等の推進 ・ 市長部局との交流, 国・他都市・他団体等への派遣の充実の検討・実施 ・ 民間企業派遣研修の実施	企業力向上推進室 職員課 水道部管理課 下水道部管理課
職員の意欲・能力を更に発揮できる活力ある組織風土の醸成	○ 柔軟な働き方の仕組みの検討・構築 ・ 1時間単位の病気休務の新設 若手職員の意欲向上を図る取組の実施 ・ 若手職員グループ等の交流会の開催等 コンプライアンスの徹底を図る取組の実施 ・ 職員のコンプライアンスに対するより一層の意識向上を図るための研修等の実施 ・ 服務監察及び業務監察の実施	企業力向上推進室 職員課
② 京の水をともに支える市民・事業者の皆さまとの更なる連携		
市民・事業者の皆さまと一体となった事業推進	水道・下水道の御利用等に係る情報発信 ・ メーター点検訪問時の広報物配布等 市民向け講座の検討・実施 オープンデータの推進 ・ ポータルサイト掲載データセット数(新規)目標5件 公契約基本条例に基づく取組の推進 ・ 分離分割発注の推進など市内中小企業の受注等の機会の増大 ・ 下請業者の社会保険等の加入の徹底 ・ 建物清掃等の役務業務への最低制限価格制度の導入	総務課 契約会計課 経営戦略室
関係団体と一体となった技術力の向上・技術継承の推進	上下水道サービス協会の在り方の検討 ・ 水道・下水道事業の技術力の向上・技術継承の在り方の検討	経営戦略室

方針② ささえる

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
① 施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減		
施設マネジメントの実践	優先順位を踏まえた建設事業計画の作成・実施 庁舎の長期修繕計画に係る調査の実施 ・ 長期修繕計画調査対象(計4箇所) 水道管路管理センター北部配水管理課・南部給水工事課, みなみ下水道管路管理センター山科支所・西部支所	経営戦略室 監理課 水道部管理課 下水道部計画課

取組	2018(平成30)年度の実施内容/目標等	所属
工事検査手法の改善 及び体制強化	工事検査の手法改善(試行運用)及び検査体制の強化	監理課
② 業務執行体制の見直しや民間活力の導入等による経営の効率化		
業務執行体制の効率化 及び活性化	第6期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編,職員定数の削減(31人) 民間活力の導入の推進 ・ 営業所水道開閉栓業務(東部,西部,左京) ・ 鳥羽水環境保全センター吉祥院支所における運転管理業務の委託範囲の拡大 北部営業所及び左京営業所を再編	職員課 お客さまサービス推進室 下水道部施設課
ICT活用によるコスト縮減	イントラ管理用サーバ群のサーバ仮想化の実施 水道・下水道管路のデータベース(管路情報管理システム)の統合に向けた検討 業務システムに係る新たな技術導入に向けた調査・研究	総務課 技術監理室 水道部管理課 下水道部管理課
③ 将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化		
長期的な財政目標達成に向けた財政基盤の強化	資産維持費等の活用による企業債残高の削減 ・ (水道)資産維持費22.2億円の確保,企業債残高65億円の削減 ・ (下水道)減債積立金32.6億円の確保,企業債残高212億円の削減 下水道大規模更新等に備えた積立金の確保 ・ 減債積立金32.6億円の確保 企業債償還方法の見直しによる総支払利息の削減	経営戦略室
保有資産の有効活用をはじめとした増収策の検討・実施	南北拠点整備に伴う空き施設の全庁的な活用方法の検討 保有資産の有効活用の検討及び売却・貸付の推進 ・ 保有資産の有効活用に向けた商品化(測量,境界確定等)水需要喚起策の実施及び新規施策の検討 ・ ミスト事業や水飲み場設置の更なる推進等 ・ 利き水体験やお風呂の魅力や効能を啓発するワークショップ等の参加型・体験型のイベントの実施(再掲)	総務課 経営戦略室
④ 継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討		
継続的な経営改善と経営状況の情報発信の推進	単年度事業計画の策定・実践及び進捗管理 経営審議委員会等の意見を踏まえた経営評価制度の充実及び実施 経営状況に係る情報発信 6ページ参照 ・ 経営審議委員会の意見等を踏まえた経営評価冊子の作成及び公表 ・ 水道事業・公共下水道事業の一体的な予算・決算情報の公表	経営戦略室
適正な料金・使用料体系・水準の検討	水道施設維持負担金制度の運用 6ページ参照 料金制度に係る課題の抽出及び調査・研究の実施	経営戦略室

○ 経営評価制度の実施

上下水道局では、水道事業・公共下水道事業の適切な執行管理や継続的な改善と市民サービスの向上を図るとともに、市民の皆さまに対する説明責任を果たし、市民の皆さまの視点に立った市政の実現を図ることを目的として、「経営評価」を実施し、その結果を上下水道局のホームページで公表しています。

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/page/0000007538.html>)



＜中期経営プラン(2018-2022)に掲げる数値目標一覧＞

区分	指標名	2017(H29) 見込	2018(H30) 目標	2022 目標	
プラン全体の目標	事業に対する総合満足度	65% (2015年度)	70%以上	70%以上	
視点① 京の水をみらいへつなぐ	① つくる	異臭(かび臭)のない水達成率	99.1%	100%	100%
		浄水施設の耐震化率	51.0%	51.0%	76%
		配水池の耐震化率	28.1%	31.3%	54%
	② はづかす	有収率	90.5%	90.6%	91.0%
		老朽配水管の解消率	23.0%	27.1%	47%
		主要管路の耐震適合性管の割合	51.3%	52.6%	58%
		下水道管路改築・地震対策率	11.4%	14.8%	28%
	③ きれいにする	高度処理管理目標水質達成率	100%	100%	100%
		処理施設の改築更新数	—	13 施設	37 施設
		合流式下水道改善率	63.1%	66.2%	96%
	④ まもる	飲料水の備蓄率	48.5% (2015年度)	49.8%	55%
		雨水整備率(10年確率降雨対応)	28.0%	28.6%	33%
	⑤ いどむ	新技術等の調査研究件数	73 件 (2013-2017年度)	年間 18 件	90 件 (2018-2022年度)
視点② 京の水でこころをはぐくむ	① こたえる	窓口、電話対応のお客さま満足度	58.0% (2015年度)	59.4%	65%
		インターネットを活用したサービスの利用件数	年間 3,500 件	年間 4,000 件	累計 45,000 件
		広報活動の認知度	32.7% (2015年度)	33.0%	35%
	② ゆたかにする	琵琶湖疏水記念館来館者数	累計 250 万人	累計 260 万人	累計 310 万人
		事業活動に伴う温室効果ガスの排出量削減率(2004(平成16)年度比)	19.0%	19.3%	25%
		汚泥有効利用率	23.7%	25.0%	50%
視点③ 京の水をささぐつづける	① になう	技術系資格保持者の割合	28.8%	32%	40%
		職員定数	1,249 人	1,218 人	1,149 人
	② やねんする	下水道の大規模更新に備えた積立金	(未実施)	(未実施)	50 億円
		企業債残高	4,840 億円	4,563 億円	4,149 億円

お問合せ先

水道・下水道の使用開始・中止及び名義変更の受付、口座振替払い・クレジットカード継続払いのお申込み、水道料金・下水道使用料のお支払い、道路等の漏水の連絡、災害用備蓄飲料水「京のかがやき 疏水物語」のご注文、水道事業・公共下水道事業に関するご相談は、お近くの営業所又はお客さま窓口サービスコーナーまで。

お申込みやお問合せなどには、お客さま番号(水道番号)をお知らせ下さい。

担当区域	営業所名	住所	電話	FAX
東山区,山科区,伏見区醍醐支所管内	東部営業所	山科区柳辻西浦町1番地11	075-592-3058	075-501-1746
北区,上京区,左京区,中京区(5月7日から)*	北部営業所	左京区高野竹屋町4番地1	075-722-7700	075-722-7704
右京区,西京区	西部営業所	右京区太秦安井一町田町14番地	075-841-9184	075-801-9629
右京区京北出張所管内	西部営業所 京北分室	右京区京北周山町上寺田1番地1	075-852-1820	075-852-1833
下京区,南区,伏見区(醍醐支所管内を除く)	南部営業所	伏見区鷹匠町33番地	075-605-2011	075-605-1370

*平成30年5月6日までの問合せ先は以下のとおりです。

担当区域	営業所名	住所	電話	FAX
北区,上京区,中京区	北部営業所	北区衣笠東御所ノ内町43番地	075-462-3251	075-463-4826
左京区	左京営業所	左京区高野竹屋町4番地1	075-722-7700	075-722-7704

平成30年5月7日から、北部営業所と左京営業所を再編し、名称を北部営業所として現左京営業所所在地で営業します。

お客さま窓口サービスコーナー

【お問合せ】

☎075-672-7770
FAX075-672-7773

●「お客さま窓口サービスコーナー」をご存知ですか？

京都駅から近い上下水道局本庁舎の1階にあり、平日の夜間や土曜・日曜・祝日も営業しているので便利です。ぜひご利用下さい。

●営業時間

平日/午前8時30分から午後7時まで
土曜・日曜・祝日/午前10時から午後5時まで
※年末年始(12月29日～1月3日)は閉庁します。



〒601-8004 京都市南区東九条東山王町12番地

鉛製給水管取替工事や受水槽式給水から直結式給水への取替えなど、給水装置工事に関することは担当の給水工事課まで。

担当区域	給水工事課名	住所	電話		FAX	
			事務係	工事第1係	事務係	工事第1係
北区,上京区,左京区,中京区,右京区,西京区(外畑地域を除く)	北部給水工事課	右京区太秦安井一町田町14番地(上下水道局太秦庁舎3階)	事務係	075-841-3125	事務係	075-841-9251
			工事第1係	075-841-3126	工事第1係	075-841-9253
			工事第2係	075-841-3127	工事第2係	075-841-9252
			(北区,上京区の一部(一条通以北),左京区,上京区の一部(一条通以南),中京区,右京区,西京区(外畑地域を除く))			
東山区,山科区,下京区,南区,伏見区,西京区(外畑地域のみ)	南部給水工事課	南区西九条菅田町7番地3	事務係	075-672-3506	事務係	075-682-3951
			工事第1係	075-672-3507	工事第1係	075-682-3952
			工事第2係	075-672-3511	工事第2係	075-682-3953
			(山科区,下京区,南区,伏見区醍醐支所管内,東山区,西京区外畑地域,伏見区(醍醐支所管内を除く))			

上下水道局ホームページからも各種申込みを承っておりますので、ぜひ、ご利用ください。

京都市上下水道局 検索

上下水道局ホームページ
<http://www.city.kyoto.lg.jp/suido/>

すみと 澄都くんのつぶやき

京都市上下水道局公式ツイッター

水道・下水道事業の情報を発信!
フォローしてね! @sumito_kyoto

すみと 澄都くんのfacebook

京都市上下水道局公式フェイスブック

「いいね!」してね!

すみとFacebook

京の水からあすをつくる 京都市上下水道局 京の上下水道 vol.10

編集:先任/総務部総務課(平成30年4月発行) T001-8004 京都市南区東九条東山王町12番地 ☎075-072-7610 075-052-2711

